

フレントリ館長便り (2007年7月)

知和沼沢地には、コウノトリの再飛来にそなえて人工巣塔が立てられており、巣塔の柱の中ほどには、安田地区の方によりブッポウソウ用の巣箱が取り付けられています。巣塔の上には時々ミサゴが止まります。魚捕り専門のタカですが、やはりタカなのでブッポウソウは近づきにくいだろうなと思っていました。

5月の末まで、この巣箱に鳥が出入りする姿は認められませんでした。6月10日ごろからブッポウソウが利用し始めました。約1ヶ月おくれの営巣開始です。おそらく近所で営巣していて、ヘビにでも襲われたため引っ越してきたのでしょう。南へ帰る日までに間に合うように、雛がじゅうぶん育つことを祈るばかりです。

